



2008・①

雪たねニュース

北海道版 No.317

今月の主な目次

- 牧草品種選定のポイントと優良品種の紹介
- ネオデント・ニューデントの紹介

- 営業所からの宅急便 シリーズ(3)
現地レポート：宗谷管内における簡易更新の試みと普及
- 北海道総括支店から 新年のご挨拶

謹賀新年

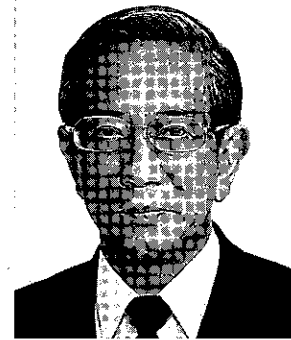
平成20年の新春を迎え、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は弊社事業につきまして、特段のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

昨年のわが国の経済は、堅調な企業業績を背景とする設備投資の増加や雇用情勢の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、一方では米国でのサブプライム問題に端を発する金融市場の混乱や原油価格の高値推移が継続するなど不透明感が増しております。

国内の酪農・畜産業界は、社会・経済のグローバル化が進展する中で、BRICsを始めとする新興国での需要の拡大、また、世界各地で頻発する異常気象の影響を受けた原油や飼料原料などの生産資材価格の高騰により、酪農・畜産経営を取巻く環境は厳しさを増しております。また、BSEや輸入農産物の残留農薬問題に端を発した食の安全・安心や、地球温暖化を含めた環境問題に対する社会の関心はますます高まっております。このような中、国は自給率の向上をめざした粗飼料増産運動や国産未利用資源の活用を図るエコフィードなどの施策を推進し国内酪農・畜産の振興を図っております。

このような事業環境の中で弊社は、創業者である黒澤西蔵翁が提唱した「健土健民」を企業理念に、「コンプライアンス」と「品質保証」を経営の基幹に据え「お客様第一主義」を徹底して、酪農畜産・畑作園芸・環境緑化の各分野で事業展開を図っております。

酪農畜産分野では、長年に渡って培ってきた技術力を生かして、高品質・安定生産とともに乳・肉の生産性を高める牧草・飼料作物種子、哺育・育成期から成牛まで一貫した飼養体系の中で生産性ととともに健全な牛づくりをサポートする乳牛用・肉牛用配合飼料製品、また、国産食品副産物と牧草類を組合せて乳酸発酵させたウェット飼料、さらには良質なサイレージ発



酵を促す乳酸菌製剤などの開発・販売を通して、酪農・畜産経営の安定化に貢献してまいります。

畑作園芸分野では環境保全型農業をサポートし安全・安心な農産物の生産を可能とする緑肥作物や野菜種子、豊かな生活を提供する花卉種苗の開発・販売、また、環境緑化分野では地球温暖化防止への取組みが進められる中で、省力的なローメンテナンスに適した芝草品種や都市緑化に適した軽量ロール芝資材の開発・販売、コミュニティスポーツとして人気が高いパークゴルフ事業への取組みを進め、農業の生産現場から幅広い生活分野に至り、数多くの商品と技術を取り揃え、皆様のご用命をお待ち致しております。

創業以来培ってきたノウハウと先進の研究開発を通して日本農業が直面する課題に立ち向かっていくこと、土壌の豊かな力の回復、循環による資源の有効活用、安全・安心な農産物の供給など「農業・環境」をテーマとする事業に取り組んでいくことが弊社の使命であると考えております。

新年を迎えるにあたり、皆様のご健勝と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

平成20年 元旦

雪印種苗株式会社
代表取締役社長 掛村 博之